

事業主の皆様に取り組んでいただきたいこと

従業員の「一斉帰宅の抑制」をお願いします！！

◆大阪府の帰宅困難者数(※)

- 発生当日に最大で**約146万人**と想定
- 主要駅

主要駅	帰宅困難者 (万人)
大阪駅・梅田駅周辺	18.3
難波駅周辺	9.5
天王寺駅・阿部野橋駅周辺	5.3
京橋駅・OBP周辺	4.1

※地震後しばらくして混乱が収まり、帰宅が可能となる状況になった場合において、遠距離等の理由により徒歩等の手段によっても当日中に帰宅が困難になる人

(第5回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会資料より)



出典：「平成24年警察白書」(警察庁)
<http://www.npa.go.jp/hakusyo/h24/honbun/html/of110000.html>

<一斉帰宅の抑制> ~対策のポイント~

- ・従業員を施設内に待機
- ・最低3日間の備蓄
- ・従業員との安否確認手段の確保
- ・従業員と家族との安否確認手段の確保
- ・家具類の転倒・落下・移動防止対策等
- ・正確な情報収集

など

【参考・東日本大震災発生時の首都圏の帰宅困難者数(計515万人)】

主な都県	帰宅困難者(万人)
東京都	352
神奈川県	67
千葉県	52

企業における一斉帰宅の抑制の取組事例

大阪府では、災害時の「一斉帰宅の抑制」を実施されている企業の取組事例を収集し、紹介をしています。

HP: <http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/kitakukonnan3/index.html>

○取組事例の紹介

■企業における一斉帰宅の抑制の取組事例の紹介(日東電工株式会社 本社・大阪支店)

更新日:平成30年1月9日

日東電工株式会社 本社・大阪支店

一斉帰宅抑制の取組内容

弊社では、本社、大阪支店に合計約270名が在籍しております。「どんな災害の時にも従業員一人ひとりが自ら安全を確認、確保し迷わず行動できる」ことを目的に、拠点毎に「防災マニュアル」を作成しており、周知のために説明会や訓練を定期的に行っています。特に大規模災害時には、帰路の安全が確認されるまでは全員事務所への停留を基本とし、事務所内に防災倉庫を設け、在籍人数分の非常用物資を備蓄しています。

また、停留場所(男女区分やお客様停留場所等)のガイドラインも設け、自衛消防隊を中心に避難、停留時の役割を従業員に付与し、起こり得る災害を想定した準備をしています。弊社は、今後も随時備蓄品の増強や手順を見直し、一斉帰宅抑制対策に取り組んでまいります。



その他災害対策の取組内容

- ・地震発生時の初動訓練(従業員数+αのタタミを机下に設置し全員装着)
- ・安否確認訓練(各部署呼名簿(就業時)・各部署緊急連絡網・安否確認システム)
- ・全員停留を基本とするが、帰宅者用に従業員数の帰宅支援バックをワードローブ内に設置
- ・被災拠点との情報交換、支援応援等の目的で、衛星電話、非常用PHSを設置

■企業における一斉帰宅の抑制の取組事例の紹介(シューワ株式会社)

更新日:平成30年1月9日

シューワ株式会社

一斉帰宅抑制の取組内容

弊社では、全国に500名の社員が在籍しております。

災害発生時には、安否確認システムが起動し社員のみならず社員の家族の安否も確認できる仕組みを構築しております。

また、社内にBOP事業部が存在し、万全の体制を整えております。

平成29年9月5日に実施された大阪880万人訓練では、緊急連絡メールを受信後にこの安否確認システムによる安否確認の実施をはじめ、取引先様へ被害状況の報告、給油作業の実施訓練を行いました。

そのほか、大阪府と災害時に避難所等へ灯油等の供給を協力する協定を平成28年3月25日に締結し、災害時には大阪府の応急対策に協力することとしております。



会社概要

企業名 : [シューワ株式会社\(外部サイトを別ウインドウで開きます\)](#)

所在地 : 大阪府堺市中区陶器北244-5

事業内容 : 灯油巡回販売、天然水製品の製造販売、緊急時燃料備蓄・配達事業

日東電工株式会社 様

シューワ株式会社 様